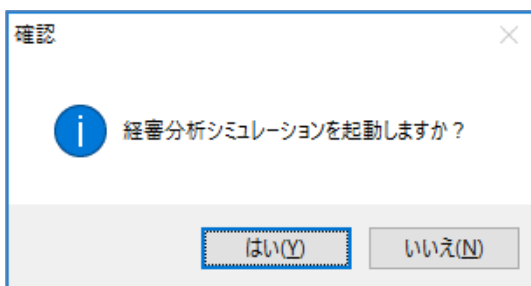


18. 経審分析シミュレーションについて

「経審分析シミュレーション」では経審評点を算出し、結果モニタ、シミュレーション、印刷等を行うことができます。

18-1 経審分析シミュレーションの起動

業務選択メニューから「経審分析シミュレーション」をクリックすると、確認ダイアログを表示します。[はい] をクリックすると「経審分析シミュレーション」が起動し、「建設業.NET-経審分析」内に「分析情報選択」画面が開きます。



18-2 分析情報選択

分析情報ファイルの新規作成や、既に作成したファイルの呼出・削除などの処理をします。

審査基準日	作成区分	メモ	呼出	削除	作成年度
令和03年07月31日	法人	令和03年07月21日 16時41分に追加した分析情報です	呼出	削除	令和3年4月

[業務選択に戻る] …「分析情報選択」画面を閉じ、「メニュー：業務選択」画面へ戻ります。

①区分

〈法人〉 〈個人〉 から区分を選択します。

②計算式

各決算期の経審の計算方法を選択します。

③審査基準日

日付ビルダが開きますので、審査基準日を入力します。

「経営状況分析申請書」の「審査基準日」に入力があると、その日付を反映します。

※同一の審査基準日について、複数データを作成することはできません。シミュレーションデータは上書きされますので、ご注意ください。複数作成したい場合は審査基準日を[呼出]をクリックして、既に存在するデータの審査基準日を変更してから、再作成してください。

④JVである

JV（共同企業体）の場合はチェックをいれます。

JV データの場合は入力手順が通常の法人や個人の場合と大幅に異なります。点数計算を行う際には、構成員の各評点が予め算出されていることが前提です。

⑤必要な数値を入力して点数計算

クリックすると「各種情報入力・設定」画面が開き、必要な情報を手入力することができます。

⑥既に作成されている財務諸表を読み込んで点数計算

クリックすると「財務諸表の選択」画面が開き、作成した財務諸表データを読み込みます。

⑦呼出

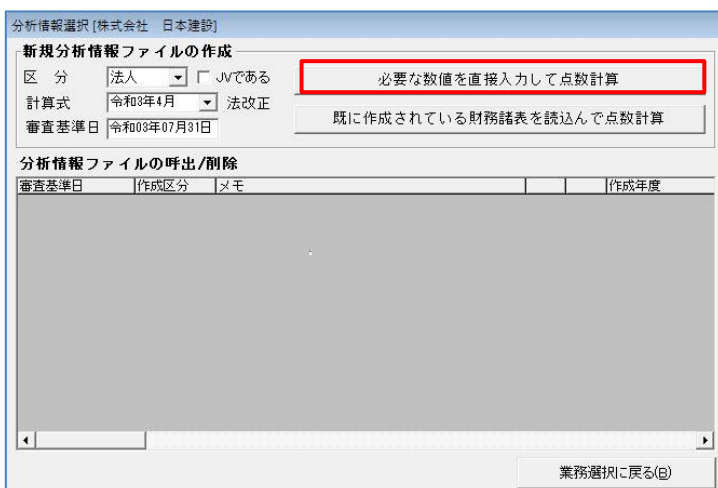
「作業メニュー」画面を開きます。既に作成した分析情報ファイルの編集や、結果モニタ、シミュレーション、全体印刷を行うことができます。

⑧削除

クリックすると作成した分析情報ファイルを削除します。

18-2-1 分析情報ファイルの新規作成

・必要な数値を入力して点数計算をする場合

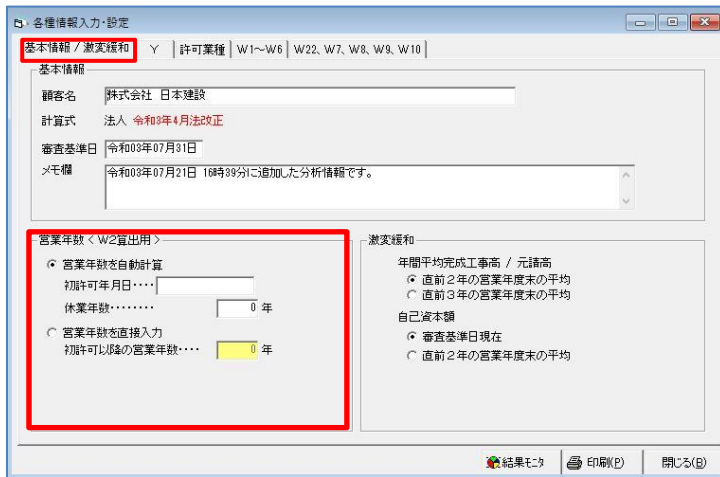


- (1) 「分析情報選択」画面で①～④までを設定し、⑤ [必要な数値を入力して点数計算] をクリックすると「各種情報入力・設定」画面が開きます。
各項目に必要な数値の入力・設定を行います。

・基本情報/激変緩和



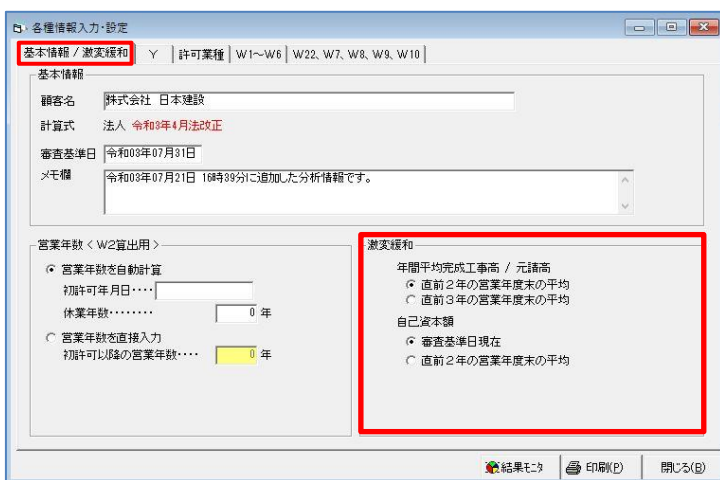
- (2) 入力画面はタブで切り替えを行います。
「基本情報/激変緩和」画面の基本情報は設定が自動で反映します。



(2) 営業年数の設定をします。

『営業年数を自動計算』する場合は、許可年月日及び休業年数を登録します。

『営業年数を直接入力』する場合は、計算した年数を入力します。



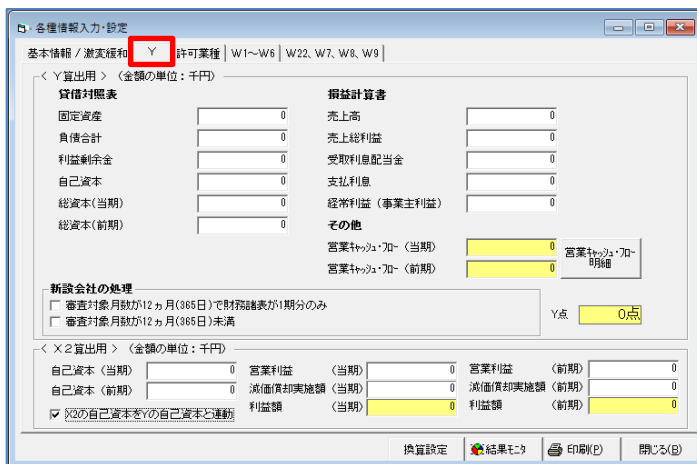
(3) 激変緩和の設定をします。

「年間平均完成工事高・元請完成工事高について、直前2年平均か直前3年平均を選択します。

自己資本額について、審査基準日現在（基準決算）または直前2年平均のいずれかを選択します。一般的には額が大きい方を選択します。

• Y(Y 算出用、X2 算出用)

法人成りの場合は直近 1 期分のみで計算します。合併、分割時経営状況分析は公認会計士、税理士などが作成した合併財務諸表、分割財務諸表により計算します。特殊な場合は計算方法が異なりますので、事前に審査行政庁や株式会社経営状況分析センターなどにお問い合わせください。

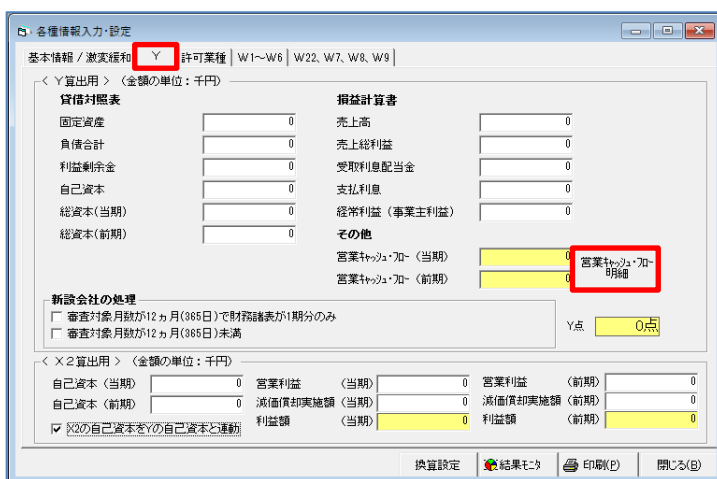


(1) 「Y」のタブをクリックします。
Y 算出用、X2 算出用入力の各欄を入力します。

※決算期変更があった場合、損益計算書の値は換算後の金額になります。

※新設法人または新規に事業を開始した個人事業者で、設立または事業開始から 365 日に満たない場合、法人設立日（個人事業者の場合は事業開始日）から 365 日（閏年は 366 日）経過していないと経営状況 Y 点は 0 点になります。必ず、新設会社欄の該当箇所をチェックを入れてください。

※新設法人または新規に事業を開始した個人事業者で、設立または事業開始から満 1 年の場合、法人設立日（個人事業者の場合は事業開始日）から満 1 年の場合、Y 点は計算されます。必ず、新設会社欄の該当箇所をチェックを入れてください。



(2) [営業キャッシュ・フロー明細] をクリックすると営業キャッシュ・フロー明細画面を表示します。

営業キャッシュ・フロー-明細 (実数)

自動計算する

項目	前々期	前期	当期	計算項目	前期計算結果	当期計算結果
経常利益(事業主利益)	0	0	0	0経常利益(事業主利益)	0	0
減価償却費繰上	0	0	0	0減価償却費繰上	0	0
法人税住民税及び事業税	0	0	0	0法人税住民税事業税	0	0
引当金合計	0	0	0	0引当金増額	0	0
受取手形	0	0	0	0売掛債権減額	0	0
完成工事未収入金	0	0	0	0		
支払手形	0	0	0	0仕入債務増額	0	0
工事未払金	0	0	0	0		
未成工事支出金	0	0	0	0棚卸資産減額	0	0
材料貯蔵品	0	0	0	0		
未成工事受入金	0	0	0	0受入金増額	0	0
				営業キャッシュ・フロー		0

単位:千円
※営業キャッシュ・フローの計算には、3期分(前々期,前期,当期)の財務諸表が必要です。

登録(C) キャンセル(B)

(3) 「営業キャッシュ・フロー」を計算する場合は左上の「自動計算する」のチェックを付け、税務申告添付決算などを参考に入力し、[登録]をクリックしてください。

「営業キャッシュ・フロー」が算出済でしたら、「自動計算する」のチェックを外し、直接「営業キャッシュ・フロー」を入力することもできます。

・許可業種

各種情報入力-設定

基本情報 / 業種種別 Y 許可業種 W1~W6 | W22, W7, W8, W9, W10

選択	コード	業種	前々完工高	前期完工高	当期完工高	前々元請高	前期元請高	当期元請高	1級技	2級技	3級技	他技	監理補
<input type="checkbox"/>	10	土木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	11	(アス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	20	建築	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	30	大工	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	40	左官	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	50	とび	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	51	(法面)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	60	石	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	70	屋根	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	80	電気	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	80	管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	100	アイル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	110	鋼構	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	111	(鋼橋)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	120	鉄筋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

その他合計 0 0 0 作成する最大パターン数 1 技術資格の最適パターン検出

チェックをつけた業種のみ印刷されます。なお、完工高合計は、チェックの有無に関わらず許可業種を除く全業種の合計です。

結果をリ 印刷(B) 閉じる(B)

(1) 業種ごとの完成工事高、元請工事高、技術職員数などを入力します。選択した業種欄には必ずチェックを付けてください。

[技術職員の最適パターン検出]をクリックすると、詳細設定の画面を表示します。

技術資格の最適パターン検出 詳細設定

作成する技術職員名簿パターン数の設定

想定される技術職員名簿パターン 件のうち、
1 件のパターンを作成 (パターン作成時間: 約10時間0分1秒)

P点優先度の高い業種

土 建 管

概要 優先度の高い業種にチェックをつけます。(規定値:全業種チェック)
想定パターン数が膨大になる場合は、優先度の低い業種のチェックを外すことにより、P点優先度の高い業種に的を絞ったパターンを作成することができます。

詳細 ・1人の技術者が2業種以上申請可能な場合、チェックが付いている業種に関しては、技術職員名簿パターン作成の対象となります。
・1人の技術者が2業種以上申請可能な場合、チェックが外れている業種に関しては、技術職員名簿パターン作成から除外されます。
・1人の技術者が1又は2業種のみ申請可能な場合、チェックの有無に関わらず、技術職員名簿の資格欄に該当資格を配分します。

資格コード001,002,003,004,064,099に当てはまる業種に於ける経験(または資格)であるか設定する必要があります。

技術職員チェック マニュアル参照 技術資格の最適パターン検出 実行 キャンセル(B)

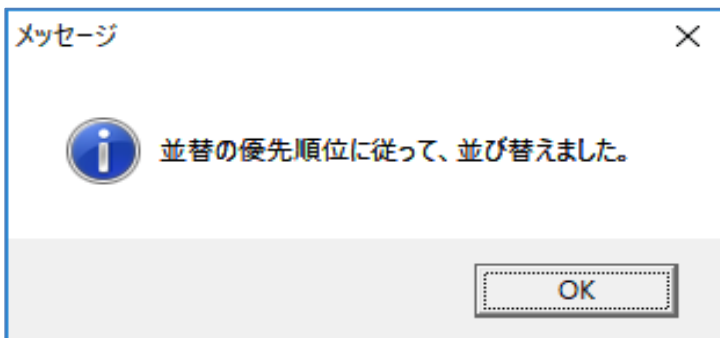
(2) 技術職員の最適パターンを検出します。

[技術職員の最適パターン実行]をクリックしてください。

※平成 20 年 4 月の建設業法改正により、経営事項審査では技術職員は 1 人あたり 2 業種までに制限が設けられました。そのため、複数の許可業種を持つ場合はどの業種に技術職員を割り当てるかで点数が変わってきます。



(3) 並替えの優先順位の数字を選択し、[並替え] をクリックすると、メッセージを表示します。



(4) [OK] をクリックすると並び替えを行い、(3)の画面に戻ります。

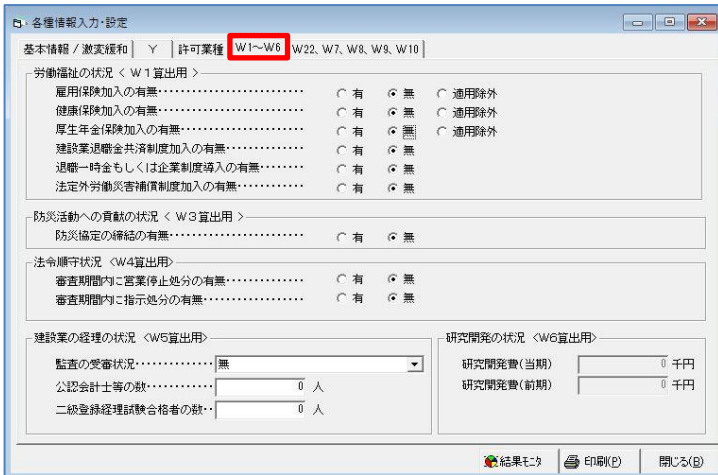


(5) [技術職員名簿に反映] をクリックすると、情報を反映して(1)の画面に戻ります。



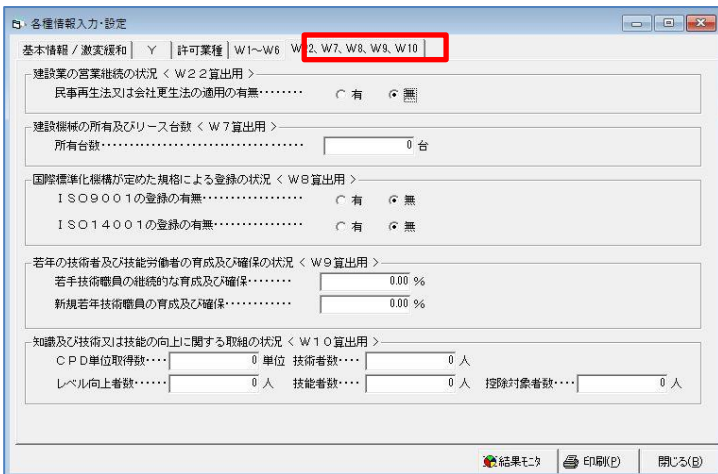
(6) [検出P点リスト] [選択中の技術職員名簿] をクリックすると、それぞれCSV出力画面を表示し、CSVデータを出力できます

• W1～W6



(1) 労働福祉の状況、防災活動への貢献状況、法令順守状況、建設業の経理の状況、研究開発の状況を入力します。

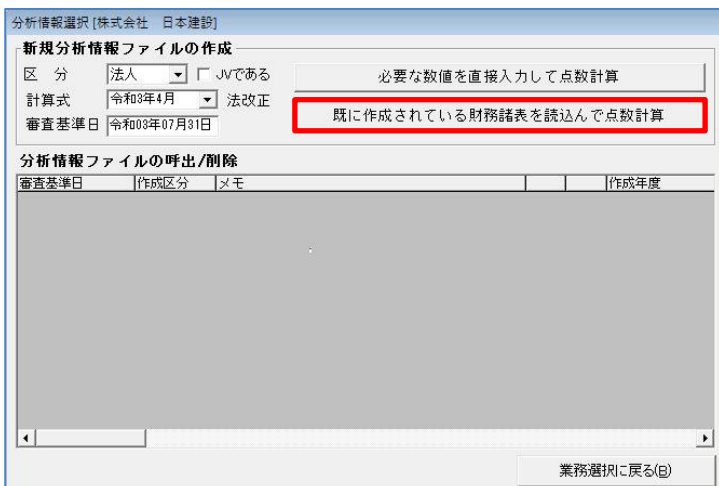
• W22、W7、W8、W9、W10



(1) 建設業の営業継続の状況、建設機械の所有及びリース台数など、W1～W6に続いて社会性等審査項目を入力します。

• 既に作成されている財務諸表を読み込んで点数計算をする場合

「既に作成されている財務諸表を読み込んで点数計算をする場合」からデータ作成した場合も、総合評価値 P 点をシミュレーションするには不足している情報を入力する必要があります。



(1) 「分析情報選択」画面(2p 参照)で①～④までを設定し、⑥ [既に作成されている財務諸表を読み込んで点数計算] をクリックすると「財務諸表の選択」画面が開きます。

財務諸表の選択 [株式会社 日本建設 審査基準日：令和03年07月31日]

読み込みオプション

財務諸表データを読み込む
 申請書データを読み込む
(経営状況分析申請書/経営規模等評価申請書 / 工事種類別完成工事高 / その他の審査項目 / 技術職員名簿)

減価償却実施額/営業利益/自己資本の読み込み

財務諸表データを優先
 経営状況分析申請書/経営規模等評価申請書データを優先

財務諸表

期	期の開始	期の終了	作成区分	税区分
6	2021/04/01	2022/03/31	法人 新様式	税抜
5	2020/04/01	2021/03/31	法人 新様式	税抜
4	2019/04/01	2020/03/31	法人 新様式	税抜
3	2018/04/01	2019/03/31	法人 新様式	税抜
2	2017/04/01	2018/03/31	法人 新様式	税抜
1	2016/04/01	2017/03/31	法人 新様式	税抜

当期
第 期 決算月数 0 ヵ月
自 至

前期
第 期 決算月数 0 ヵ月
自 至

前々期
第 期 決算月数 0 ヵ月
自 至

前々々期
第 期 決算月数 0 ヵ月 ※換算処理に使用時のみ指定
自 至

【注意】H20年4月法改正より、Y点計算には、換算処理の有無に関わらず、3期分(前々期、前期、当期)の財務諸表を計算に使用します。

実行(O) キャンセル(B)

(2) 財務諸表のデータを3期分選択して点数計算を行います。該当の当期、前期、前々期を選択します。

画面左側の財務諸表の期を選択し、該当の期の[→]をクリックします。(リセットは[←]をクリックします。)
「読み込みオプション」の設定を確認して[実行]します。

※「減価償却実施額/営業利益/自己資本の読み込み」は「財務諸表」から読み込むか、「申請書」から読み込むか確認してください。

※決算期変更がある場合は、前々々期も必要な場合があります。当期分以外財務諸表を作成していない場合は当期分のみ読み込み、その他の情報は後で入力もできます。

各種情報入力・設定

基本情報 / 激実種和 | Y | 許可業種 | W1~W6 | W22, W7, W8, W9, W10

基本情報

顧客名 株式会社 日本建設

計算式 法人 令和8年4月法改正

審査基準日 令和03年07月01日

メモ欄 令和03年07月21日 10時06分に追加した分析情報です。

営業年数 < W2算出用 >

営業年数を自動計算
 初年可年月日: []
 休業年数: [] 年

営業年数を直接入力
 初年可年月日: [] 年

激実種和

年間平均完成工事高 / 元請高

直前2年の営業年度末の平均
 直前3年の営業年度末の平均

自己資本額

審査基準日現在
 直前2年の営業年度末の平均

結果モニタ 印刷(P) 閉じる(B)

(3) 各項目の数値を読み込んだ状態で「各種情報入力・設定」画面が開きます。このあとの操作方は「必要な数値を入力して点数計算をする場合」と同様になります。
(3p~参照してください)

・データが重複した場合

重要メッセージ

以下のデータは既に存在します。
 [財務諸表の選択画面]に移動しますか？

顧客名：株式会社 日本建設
 審査基準日：令和03年07月31日

【重要】
 [財務諸表の選択画面]で実行ボタンをクリックすると、上記重複データおよび関連シミュレーションをいったん削除します。

はい(Y) いいえ(N)

※すでに作成した分析情報ファイルの審査基準日と③審査基準日の日付が同じ設定のまま[既に作成されている財務諸表を読み込んで点数計算]をクリックすると、重複データとみなしアラートを表示します。

上書きする場合は[はい]を、別に保存する場合は[いいえ]にします。
 別に保存する場合は新規ファイル作成時に別の審査基準日にしてください。

18-2-2 分析情報ファイルの結果確認

読み込んだ財務諸表、入力した数値をもとにシミュレーション結果を確認できます。

各種情報入力・設定

基本情報 / 勘定簿 Y | 許可業種 W1~W6 | W22, W7, W8, W9

Y算出用 (金額の単位: 千円)

貸借対照表

固定資産	0
負債合計	0
利益剰余金	0
自己資本	0
総資本(当期)	0
総資本(前期)	0

損益計算書

売上高	0
売上総利益	0
受取利息配当金	0
支払利息	0
経常利益(事業主利益)	0

その他

営業キャッシュ・フロー(当期)	0
営業キャッシュ・フロー(前期)	0

新設会社の処理

審査対象月数が12ヵ月(365日)で財務諸表が1期分のみ

審査対象月数が12ヵ月(365日)未満

Y点 0点

X2算出用 (金額の単位: 千円)

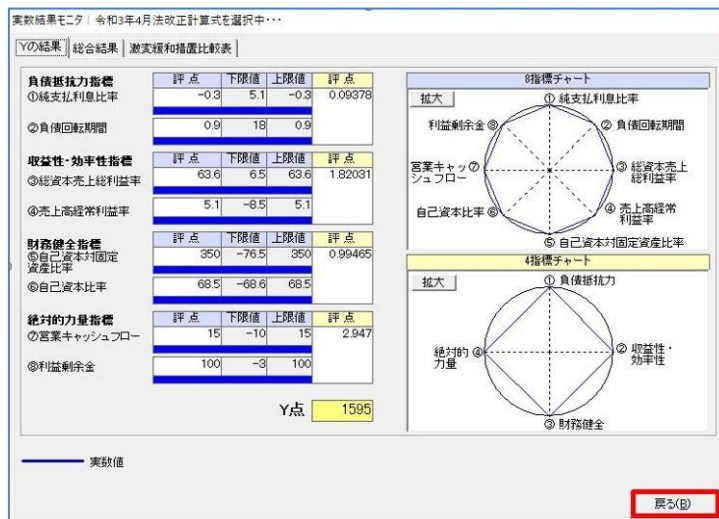
自己資本(当期)	0	営業利益(当期)	0	営業利益(前期)	0
自己資本(前期)	0	減価償却実施額(当期)	0	減価償却実施額(前期)	0
		利益額(当期)	0	利益額(前期)	0

X2の自己資本をYの自己資本と連動

換算設定 結果モニタ 印刷(P) 閉じる(B)

- (1) 各種情報入力・設定画面で「結果モニタ」をクリックします。
※経営状況 Y 点だけを確認したい場合は、左図の Y 算出用のみの入力で行うことができます。

Yの結果



- (1) Yの入力した数値を基に、計算結果を表示します。
「戻る」をクリックすると「各種情報入力・設定」画面に戻ります。

総合結果

実数結果モニタ | 令和3年4月法改正計算式を選択中...

Yの結果 | 総合結果 | 勘定簿和措置比較表

P, X1, Z

業種	X1										Z									
	業種名	P	平均完工高	X1	平均元請高	1技人数	講習人数	若手人数	2技人数	他技人数	監理補	元請高点数	技術者点数	Z						
10	土木	1222	290,123	837	44,964	8	7	3	5	4	1	731	1039	977						
11	(ア)ス	991	0	397	0	0	0	0	0	0	1	241	559	495						
20	建築	1136	49,054	643	37,507	3	3	0	9	0	0	710	859	829						
30	大工	1195	462,545	905	14,914	2	2	1	8	3	0	616	847	800						

X2, Y

項目	数値	評点	W	評点	W	
自己資本額(X21)	23,000,000千円	1409	W1(労働福祉の状況)	45	W22	0
利益額(X22)	2,127,070千円	1205	W2(営業年数)	60	W7	13
X2の評点	1307		W3(防災活動の貢献状況)	20	W5(建設業の経営の状況)	30
Yの評点	1530				W6(研究開発の状況)	0
					Wの評点	1776

戻る(B)

- (1) すべての項目の入力した数値を基に、業種別総合評定値 P 点の計算結果を表示します。
「戻る」をクリックすると「各種情報入力・設定」画面に戻ります。

18-2-3 JV(共同企業体)の客観点数算出

分析情報選択 [株式会社 日本建設]

新規分析情報ファイルの作成

区分 JVである

計算式 法改正

審査基準日

分析情報ファイルの呼出/削除

審査基準日	作成区分	メモ	呼出	削除	作成年度
令和03年07月31日	法人	令和03年07月21日 18時55分に追加した分析情報です	<input type="button" value="呼出"/>	<input type="button" value="削除"/>	令和3年4月

- (1) 『JVである』にチェックを入れて、[必要な数値を直接入力して点数計算] もしくは [既に作成されている分析情報を合算して点数計算] をクリックすると、JV データを作成します。

・必要な数値を直接入力して点数計算

各種情報入力・設定 経常JV

基本情報 | 許可業種

顧客名

計算式 計算年度を変更する場合はこのボタンをクリックしてください。計算年度を変更すると、シミュレーションや印刷が全て変更した年度の計算方法で算出されます。

審査基準日

構成員数 社 メモ欄
令和03年07月28日 14時04分に追加した分析情報です。

Y合計点 点

W合計点 点

< X2算出用 > (金額の単位：千円)

自己資本 (合計)

利益額 (合計)

- (1) [必要な数値を直接入力して点数計算] をクリックして「各種情報入力・設定 経常 JV」画面を表示します。
「構成員数」はJVを構成する会社の数、Y、Wの合計点は構成員の合計点を入力しJV分析データを作成します。

・既に作成されている分析情報を合算して点数計算

JVデータの加算呼出 [株式会社 日本建設 審査基準日：令和03年07月31日]

加算対象	顧客No	顧客名	審査基準日	区分
<input type="checkbox"/>	3	株式会社 東京建設	令和03年05月31日	法人
<input type="checkbox"/>	3	株式会社 東京建設	令和02年05月31日	法人
<input type="checkbox"/>	3	株式会社 東京建設	令和01年05月31日	法人
<input type="checkbox"/>	3	株式会社 東京建設	平成30年05月31日	法人
<input type="checkbox"/>	3	株式会社 東京建設	平成29年05月31日	法人
<input type="checkbox"/>	4	株式会社 大阪建設	令和03年04月30日	法人
<input type="checkbox"/>	4	株式会社 大阪建設	令和02年04月30日	法人
<input type="checkbox"/>	4	株式会社 大阪建設	平成31年04月30日	法人
<input type="checkbox"/>	4	株式会社 大阪建設	平成30年05月31日	法人
<input type="checkbox"/>	5	株式会社 福岡建設	令和03年05月31日	法人
<input type="checkbox"/>	6	株式会社 神奈川建設	令和03年08月31日	法人
<input type="checkbox"/>	6	株式会社 神奈川建設	令和02年08月31日	法人
<input type="checkbox"/>	6	株式会社 神奈川建設	令和01年08月31日	法人
<input type="checkbox"/>	6	株式会社 神奈川建設	平成30年08月31日	法人
<input type="checkbox"/>	6	株式会社 神奈川建設	平成29年08月31日	法人
<input type="checkbox"/>	6	株式会社 神奈川建設	平成28年08月31日	法人
<input type="checkbox"/>	6	株式会社 神奈川建設	平成27年08月31日	法人

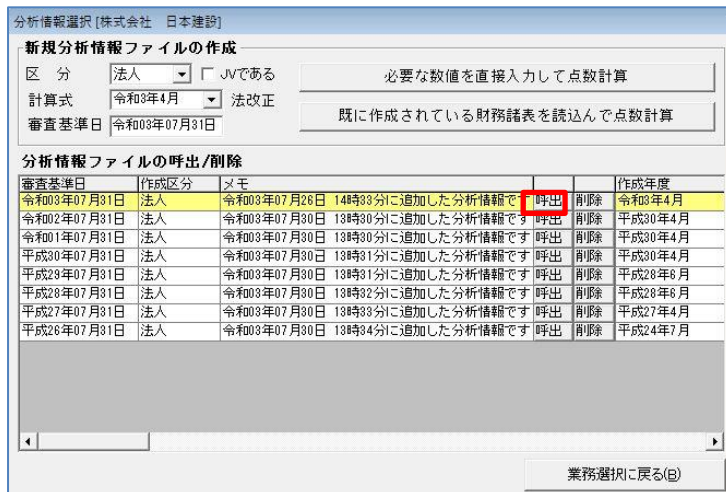
- (1) 加算対象となる業者を選択して (チェックボックスにチェックを入れる)、[実行] をクリックします。



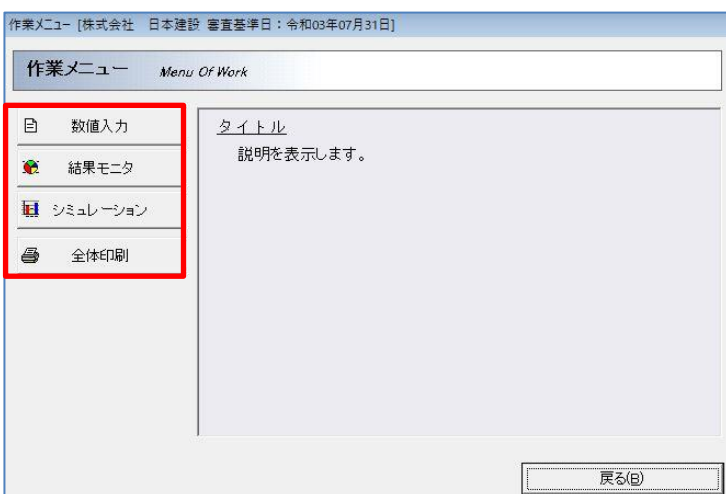
(2) 集計した JV 分析データを作成します。

18-2-4 分析情報ファイルの呼出・削除

・分析情報ファイルの呼出



(1) 「分析情報選択」画面で呼び出したいファイルの [呼出] をクリックすると「各種情報入力・設定」画面が開きます。



(2) 画面左の各ボタンをクリックし、目的の作業画面へ移動します。

・分析情報ファイルの削除

分析情報選択 (株式会社 日本建設)

新規分析情報ファイルの作成

区分 JVである

計算式 法改正

審査基準日

分析情報ファイルの呼出/削除

審査基準日	作成区分	メモ	呼出	削除	作成年度
令和03年07月31日	法人	令和03年07月28日 14時33分に追加した分析情報です	呼出	削除	令和3年4月
令和02年07月31日	法人	令和03年07月30日 13時30分に追加した分析情報です	呼出	削除	平成30年4月
令和01年07月31日	法人	令和03年07月30日 13時30分に追加した分析情報です	呼出	削除	平成30年4月
平成30年07月31日	法人	令和03年07月30日 13時31分に追加した分析情報です	呼出	削除	平成30年4月
平成29年07月31日	法人	令和03年07月30日 13時31分に追加した分析情報です	呼出	削除	平成28年6月
平成28年07月31日	法人	令和03年07月30日 13時32分に追加した分析情報です	呼出	削除	平成28年6月
平成27年07月31日	法人	令和03年07月30日 13時33分に追加した分析情報です	呼出	削除	平成27年4月
平成26年07月31日	法人	令和03年07月30日 13時34分に追加した分析情報です	呼出	削除	平成24年7月

(1) 「分析情報選択」画面で削除したいファイルの [削除] をクリックすると「重要メッセージ」ダイアログを表示します。

重要メッセージ

[審査基準日:令和03年07月31日]の分析情報ファイルを削除してよろしいですか？

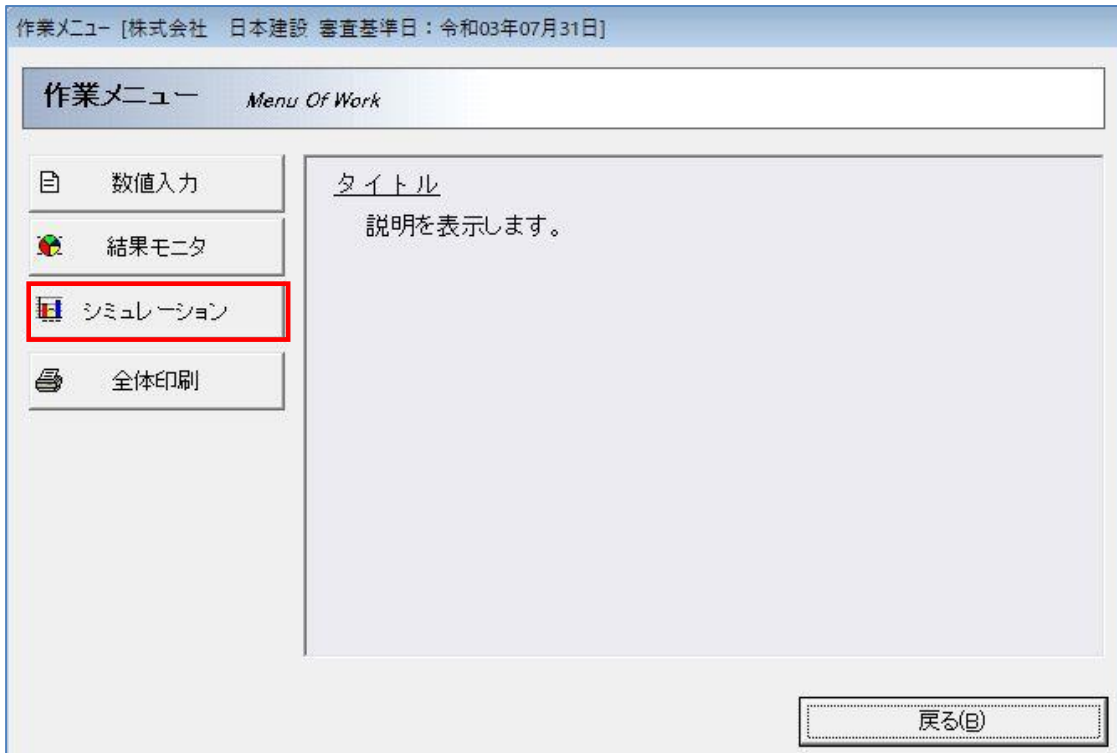
【重要】分析情報ファイルを削除をすると、分析情報に付随するシミュレーションデータも同時に削除されます。ご注意ください。

(2) [はい] をクリックすると選択した分析情報ファイルを削除します。

18-3 シミュレーションを行う

18-3-1 シミュレーションの設定

分析情報ファイルの新規作成、または既に作成したファイルの呼出を行い「作業メニュー」画面を表示します。



[シミュレーション] をクリックすると「シミュレーション」画面を表示します。



各タブをクリックして画面を表示し、シミュレーションに必要な数値の入力・設定を行います。
 実数とは異なる数値または設定の箇所には赤矢印を表示し、想定欄の数値が赤文字に変わります。

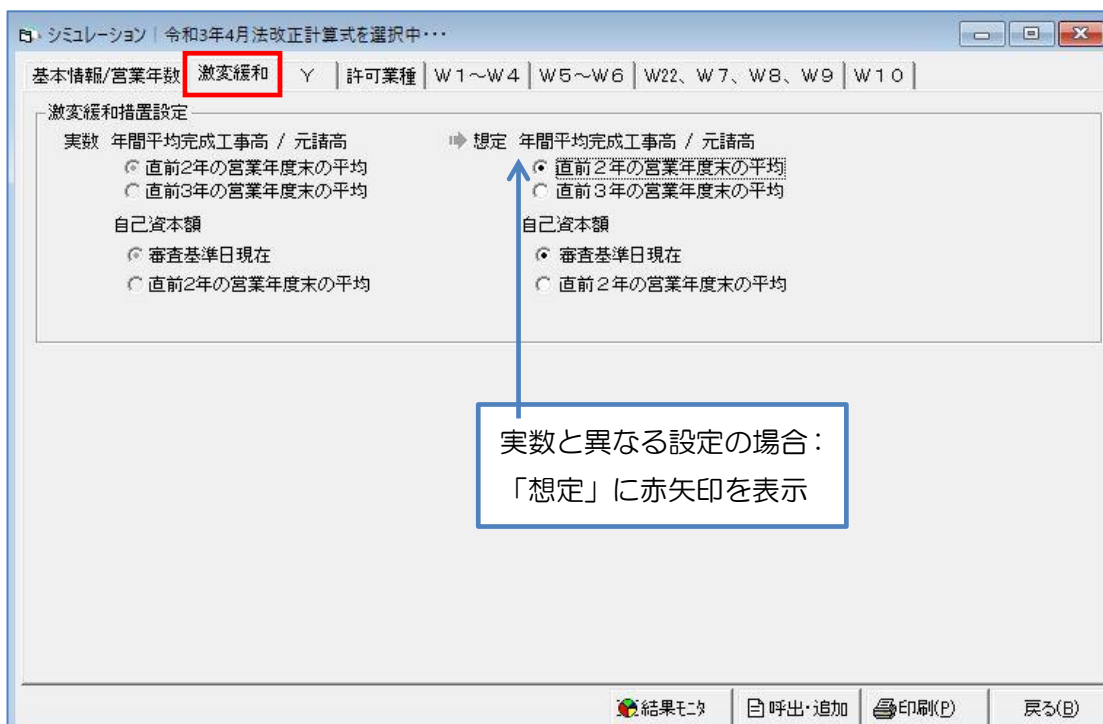
• 基本情報／営業年数

実数値は 18-2 (3p~4p) で入力、設定した数値です。想定値を入力することにより、シミュレーションが可能となります。



• 激変緩和

想定値を入力することにより、シミュレーションが可能となります。



・Y

想定値を入力することにより、シミュレーションが可能となります。

シミュレーション | 令和3年4月法改正計算式を選択中...

基本情報/営業年数 | 激変緩和 **Y** | 許可業種 | W1~W4 | W5~W6 | W22、W7、W8、W9 | W10

一般入力科目 (金額の単位:千円)

科目名	実数	想定	科目名	実数	想定
固定資産	25,100	25,100	①売上	660,904	660,904
負債合計	335,214	335,214	②上総利益	9,355,221	9,355,221
利益剰余金	592,540	592,540	受取利息配当金	1,568	1,568
自己資本	600,000	630,000	③利息	873	873
総資本(当期)	919,222	949,222	経常利益(事業主利益)	26,015	26,015
総資本(前期)	879,555	879,555	営業キャッシュ・フロー(当期)	34,211	34,211
			営業キャッシュ・フロー(前期)	62,589	62,589
			Y点	1056点	1058点

④ 営業キャッシュ・フロー明細

新設会社の処理

審査対象月数12ヶ月かつ財務諸表が1期分

審査対象月数12ヶ月かつ財務諸表が1期分

12ヶ月未満

12ヶ月未満

自己資本額/建設業職員数 < X2算出用 > (金額の単位:千円)

科目名	実数	想定	科目名	実数	想定
自己資本 (当期)	600,000	630,000	X2点	774点	776点
自己資本 (前期)	0	0			
営業利益 (当期)	30,590	30,590	営業利益 (前期)	12,587	12,587
減価償却実施額 (当期)	19,254	19,254	減価償却実施額 (前期)	17,357	17,357
利益額 (当期)	49,844	49,844	利益額 (前期)	29,944	29,944

X2の自己資本をYの自己資本と連動

結果モニタ | 目呼出・追加 | 印刷(P) | 戻る(B)

①売却

固定資産の売却が設定できます。

固定資産の売却

売却情報

固定資産の帳簿価格: 1千円 | 財務諸表を参照

固定資産の売却予想税抜価格: 0千円

固定資産の内容: その他: 1千円

税率

法人税率: 30%

消費税率: 5%

売却後金額の算出 | 実数値 | +変動額

貸借対照表	変動額	売却後金額	貸借対照表	変動額	売却後金額
現金・預金	0		未払消費税等	0	
流動資産	0		未払法人税等	0	
固定資産	-1	610	負債返済金額 △	0	
総資産	-1	41,533	負債合計	0	1,302
			自己資本	-1	119,999

損益計算書

固定資産売却益(損): -1

法人税住民税等: 0 | 1

金額の単位:千円

変動後の金額をシミュレーションに反映(O) | キャンセル(B)

(1) [変動後の金額をシミュレーションに反映] をクリックすると、設定した数値を「シミュレーション」画面に自動で反映します。

②振替

負債合計の振替が設定できます。

負債合計の振替

負債合計1,000千円のうち、

500千円を返済し、増資する。

役員が貸付している長期借入金や短期借入金などを、増資を目的とした株式の購入代金に充当すると、X2、X5、X6が向上する場合があります。この場合、総資本は変化しません。

シミュレーションに反映(O) | キャンセル(B)

(1) [シミュレーションに反映] をクリックすると入力した数値を「シミュレーション」画面に自動で反映します。

③増資

増資額の設定ができます。

増資シミュレーション

増資額の増加単位 表の更新

増資額	自己資本額	総資本	Y点	X2点
504,000	1,134,000	1,453,222	1,060	808
472,500	1,102,500	1,421,722	1,060	806
441,000	1,071,000	1,390,222	1,060	804
409,500	1,039,500	1,358,722	1,060	803
378,000	1,008,000	1,327,222	1,060	801
346,500	976,500	1,295,722	1,060	799
315,000	945,000	1,264,222	1,060	797
283,500	913,500	1,232,722	1,060	795
252,000	882,000	1,201,222	1,060	793
220,500	850,500	1,169,722	1,060	792
189,000	819,000	1,138,222	1,060	790
157,500	787,500	1,106,722	1,060	788
126,000	756,000	1,075,222	1,060	785
94,500	724,500	1,043,722	1,060	783
63,000	693,000	1,012,222	1,060	780
31,500	661,500	980,722	1,060	778
0	630,000	949,222	1,058	776

金額の単位 : 千円

シミュレーションに反映(C) キャンセル(B)

(1) 任意の増資額の行を選択し [シミュレーションに反映] をクリックすると、選択した数値を「シミュレーション」画面に自動で反映します。

増資シミュレーション

増資額の増加単位 表の更新

増資額	自己資本額	総資本	Y点	X2点
80,000	206,316	127,548	725	708
75,000	201,316	122,548	725	707
70,000	196,316	117,548	725	706
65,000	191,316	112,548	725	705
60,000	186,316	107,548	725	703
55,000	181,316	102,548	725	702
50,000	176,316	97,548	725	701
45,000	171,316	92,548	725	700
40,000	166,316	87,548	725	699
35,000	161,316	82,548	725	698
30,000	156,316	77,548	725	696
25,000	151,316	72,548	725	695
20,000	146,316	67,548	725	694
15,000	141,316	62,548	725	693
10,000	136,316	57,548	725	691
5,000	131,316	52,548	725	690
0	126,316	47,548	725	689

金額の単位 : 千円

シミュレーションに反映(C) キャンセル(B)

※「増資額の増加単位」に任意の数値を入力し [表の更新] をクリックすると、入力した数値毎に額が増額するように表を更新します。

④営業キャッシュ・フロー明細

営業キャッシュ・フローの明細を登録することができます。

営業キャッシュ・フロー明細 (シミュレーション)

自動計算する

項目	前々期	前期	当期	計算項目	前期計算結果	当期計算結果
経常利益(事業主利益)		0	113	経常利益(事業主利益)	0	113
減価償却実施額		0	0	減価償却実施額	0	0
法人税住民税及び事業税		0	1	法人税住民税事業税	0	-1
引当金合計	0	0	0	引当金増額	0	0
受取手形	0	0	0	売掛債権減額	0	-54
完成工事未収入金	0	0	54			
支払手形	0	0	0	仕入債務増額	0	179
工事未払金	0	0	179			
未完工事支出金	0	0	239	棚卸資産減額	0	-239
材料貯蔵品	0	0	0			
未完工事受入金	0	0	0	受入金増額	0	0
				営業キャッシュ・フロー	0	-2

単位:千円
 ※営業キャッシュフローの計算には、3期分(前々期,前期,当期)の財務諸表が必要です。

実数値の値に戻す

※営業キャッシュ・フローの計算には3期分の財務諸表が必要になります。

※想定値を個別の項目にそれぞれ入力せず、シミュレーションするために必要な箇所にまとめて入力することも可能です。

・許可業種

想定値を入力することにより、シミュレーションが可能となります。

シミュレーション | 令和3年4月法改正計算式を選択中...

基本情報/営業年数 | 激変緩和 | Y | **許可業種** | W1~W4 | W5~W6 | W22、W7、W8、W9 | W10

選択	業種	種類	P	X1	Z	前々完工高	前期完工高	当期完工高	前々元請高	前期元請高	当期元請高	1級技	講習受	基幹技	2級技	他技	監理補	本物
<input checked="" type="checkbox"/>	土	実	920	860	1053	320,597	388,502	300,052	320,597	388,502	300,052	12	11	0	5	0	0	反映
		想	1001	862	1085	320,597	388,502	311,000	320,597	388,502	300,052	15	11	0	5	0	0	
<input checked="" type="checkbox"/>	(フ)	実	655	39	456	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	反映
		想	728	39	456	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
<input checked="" type="checkbox"/>	と	実	737	57	605	3,960	26,490	17,024	2,680	10,022	12,700	1	1	0	1	0	0	反映
		想	810	57	605	3,960	26,490	17,024	2,680	10,022	12,700	1	1	0	1	0	0	
<input checked="" type="checkbox"/>	(注)	実	655	39	456	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	反映
		想	728	39	456	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

実数と異なる数値の場合：赤文字で表示

その他	実数	10	0	0	反映	<input type="checkbox"/>	1級シム	<input type="checkbox"/>	講習シム	<input type="checkbox"/>	基幹シム	<input type="checkbox"/>	2級シム	<input type="checkbox"/>	他シム	<input type="checkbox"/>	
	想定	10	0	0													
合計	実数	324,567	414,992	317,076	平均		366,034										
	想定	324,567	414,992	328,024			371,508										

① 反映

反映をクリックして、数値を自動で反映します。

② 1級技術者数シミュレーション

1級技術者の人数を設定できます。人数を設定すると、その人数に対応するP点を表示します。任意の人数の行を選択し「1級技術者数に反映」をクリックすると、選択した数値を「シミュレーション」画面に自動で反映します。

1級技術者数シミュレーション

業種: とび・土工・コンクリート

1級(人)	P点
18	907
17	905
16	902
15	899
14	896
13	893
12	889
11	885
10	881
9	876
8	869
7	863
6	857
5	850
4	844
3	835
2	823
1	810

1級技術者数に反映(C) キャンセル(B)

➔

元請高	前期元請高	当期元請高	1級技	講習受	基幹技	2級技	他技	監理補	ホシ
320,597	388,502	300,052	12	11	0	5	0	0	反映
320,597	388,502	300,052	12	11	0	5	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	反映
0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2,680	10,022	12,700	1	1	0	1	0	0	反映
2,680	10,022	12,700	3	1	0	1	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	反映
0	0	0	0	0	0	0	0	0	

1級シミュ
 講習シミュ
 基幹シミュ
 2級シミュ
 他シミュ

③ 講習シミュ～⑦補佐シミュ

1級技術者数シミュレーションと同様に、それぞれの技術者数を設定します。人数を設定すると、その人数に対応するP点を表示します。

• W1~W4

想定値を入力することにより、シミュレーションが可能となります。

シミュレーション | 令和3年4月法改正計算式を選択中...

基本情報/営業年数 | 激変緩和 | Y | 許可業種 **W1~W4** | W5~W6 | W22、W7、W8、W9 | W10

労働福祉の状況 <W1>

雇用保険加入の有無	実数	<input type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無	<input type="radio"/> 適用除外
	⇒ 想定	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無	<input type="radio"/> 適用除外
健康保険加入の有無	実数	<input type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無	<input type="radio"/> 適用除外
	⇒ 想定	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無	<input type="radio"/> 適用除外
厚生年金保険加入の有無	実数	<input type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無	<input type="radio"/> 適用除外
	⇒ 想定	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無	<input type="radio"/> 適用除外
建設業退職金共済制度加入の有無	実数	<input type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無	<input type="radio"/> 適用除外
	⇒ 想定	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無	<input type="radio"/> 適用除外
退職一時金もしくは企業制度導入の有無	実数	<input type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無	
	⇒ 想定	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無	
法定外労働災害補償制度加入の有無	実数	<input type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無	
	⇒ 想定	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無	

防災活動への貢献の状況 <W3>

防災協定の締結の有無	実数	<input type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無
	⇒ 想定	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無

法令順守状況 <W4>

審査期間内に営業停止処分の有無	実数	<input type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無
	⇒ 想定	<input type="radio"/> 有	<input checked="" type="radio"/> 無
審査期間内に指示処分の有無	実数	<input type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無
	⇒ 想定	<input type="radio"/> 有	<input checked="" type="radio"/> 無

W点 実数 617点 想定 760点

結果モニタ | 目呼出・追加 | 印刷(P) | 戻る(B)

• W5~W6

想定値を入力することにより、シミュレーションが可能となります。

シミュレーション | 令和3年4月法改正計算式を選択中...

基本情報/営業年数 | 激変緩和 | Y | 許可業種 W1~W4 | **W5~W6** | W22、W7、W8、W9 | W10

民事再生法又は会社更生法適用の有無 <W22>

民事再生法又は会社更生法適用の有無	実数	<input type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無
	⇒ 想定	<input type="radio"/> 有	<input checked="" type="radio"/> 無

建設機械の所有及びリース台数 <W7算出用>

	実数	想定
建設機械の所有及びリース台数	1	10 台

国際標準化機構が定めた規格による登録の状況 <W8>

ISO9001の登録の有無	実数	<input type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無
	⇒ 想定	<input type="radio"/> 有	<input checked="" type="radio"/> 無
ISO14001の登録の有無	実数	<input type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無
	⇒ 想定	<input type="radio"/> 有	<input checked="" type="radio"/> 無

若年の技術者及び技能労働者の育成及び確保の状況 <W9>

	実数	想定
若手技術職員の継続的な育成及び確保	0.00	10.00 %
新規若年技術職員の育成及び確保	0.00	1.00 %

結果モニタ | 目呼出・追加 | 印刷(P) | 戻る(B)

- W22、W7、W8、W9

想定値を入力することにより、シミュレーションが可能となります。

シミュレーション | 令和3年4月法改正計算式を選択中...

基本情報/営業年数 | 激変緩和 | Y | 許可業種 | W1~W4 | W5~W6 | **W22、W7、W8、W9** | W10

民事再生法又は会社更生法適用の有無 <W22>
 民事再生法又は会社更生法適用の有無... 実数 有 無
 ↳ 想定 有 無

建設機械の所有及びリース台数 <W7算出用>
 建設機械の所有及びリース台数... 実数 → 想定 台

国際標準化機構が定めた規格による登録の状況 <W8>
 ISO9001の登録の有無... 実数 有 無
 ↳ 想定 有 無
 ISO14001の登録の有無... 実数 有 無
 ↳ 想定 有 無

若年の技術者及び技能労働者の育成及び確保の状況 <W9>

	実数	想定
若手技術職員の継続的な育成及び確保	0.00	10.00 %
新規若年技術職員の育成及び確保	0.00	1.00 %

結果モニタ | 目呼出・追加 | 印刷(P) | 戻る(B)

- W10

想定値を入力することにより、シミュレーションが可能となります。

シミュレーション | 令和3年4月法改正計算式を選択中...

基本情報/営業年数 | 激変緩和 | Y | 許可業種 | W1~W4 | W5~W6 | W22、W7、W8、W9 | **W10**

知識及び技術又は技能の向上に関する取組の状況 <W10>

	実数	想定
CPD単位取得数	0	150 単位
技術者数	0	7 人
レベル向上者数	0	3 人
技能者数	0	0 人
控除対象者数	0	0 人

結果モニタ | 目呼出・追加 | 印刷(P) | 戻る(B)

18-3-2 シミュレーションの呼出・追加・削除

「シミュレーション」画面の〔呼出・追加〕をクリックすると「シミュレーション呼出・追加・削除」画面を表示します。

The screenshot shows a software window titled 'シミュレーション | 令和3年4月法改正計算式を選択中...' with several tabs: '基本情報/営業年数', '激変緩和', 'Y', '許可業種', 'W1~W4', 'W5~W6', 'W22, W7, W8, W9', and 'W10'. The '基本情報' tab is active, displaying simulation details like 'シミュレーション番号' (1) and '計算式' (法人 令和3年4月法改正). A 'メモ欄' contains the text: '令和03年08月10日 13時24分に追加したシミュレーション情報です。' At the bottom, there are buttons for '結果モニタ', '自呼出・追加' (highlighted in red), '印刷(P)', and '戻る(B)'.

この画面上でシミュレーション時に設定した内容の呼出・追加・削除を行うことができます。現在の数値・設定とは別にシミュレーションを行いたい場合は〔追加〕をクリックし、「シミュレーション」画面で新たに設定を行います。

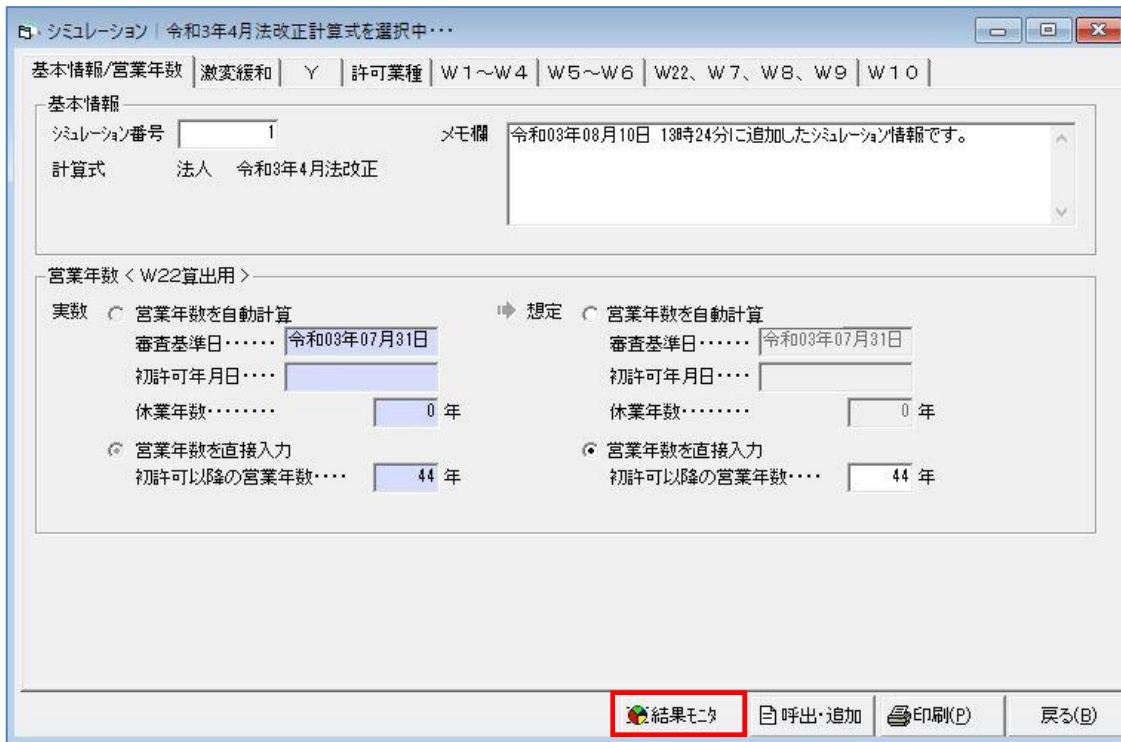
The screenshot shows a dialog box titled 'シミュレーション呼出・追加・削除'. It contains a table with the following data:

整理番号	備考
1	令和03年08月05日 13時24分に追加したシミュレーション情報です。
2	令和03年08月08日 08時28分に追加したシミュレーション情報です。
3	令和03年08月10日 13時41分に追加したシミュレーション情報です。

At the bottom of the dialog, there are buttons for '呼出(E)', '追加(A)', '削除(D)', and 'キャンセル(C)'.

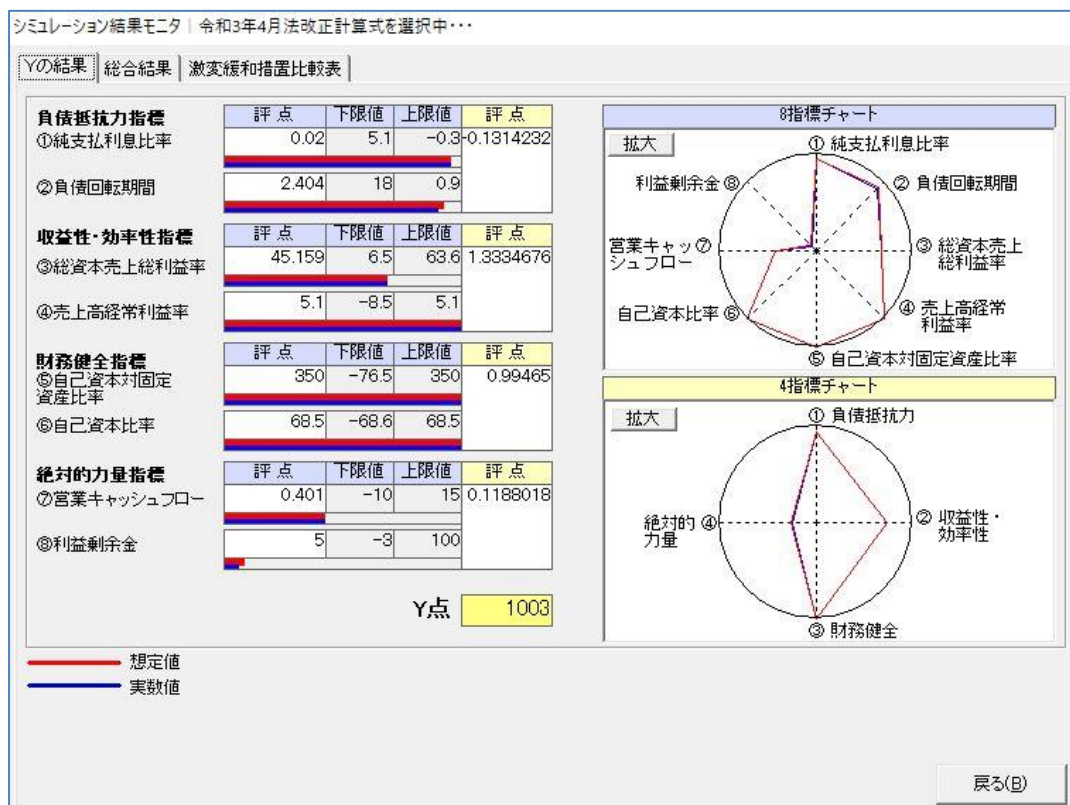
18-3-3 シミュレーションの結果確認

「シミュレーション」画面の「結果モニタ」をクリックすると「シミュレーション結果モニタ」画面を表示します。



• Yの結果

実数値と想定値をグラフで表示しますので比較することができます。



● 総合結果

シミュレーション結果モニタ | 令和3年4月法改正計算式を選択中...

Yの結果 | **総合結果** | 激変緩和措置比較表

P, X1, Z

コード	業種名	P	X1		Z									
			平均完工高	X1	平均元請高	1技人数	講習人数	基幹人数	2技人数	他技人数	監理補	元請高点数	技術者点数	Z
10	土木	781	78,864	687	78,864	4	4	0	2	0	1	800	834	827
11	(アレス)	630	0	397	0	0	2	0	0	0	1	241	584	515
20	建築	926	1,289,303	1056	1,289,303	8	8	0	4	1	0	1286	977	1038

X2, Y

	数値	評点
自己資本額(X21)	171,025千円	753
利益額(X22)	666千円	552
X2の評点		652
Yの評点		1003

W

	評点
W1(労働福祉の状況)	0
W2(営業年数)	60
W3(防災活動の貢献状況)	0
W4(法令遵守状況)	0
W5(建設業の経理の状況)	2
W6(研究開発の状況)	0
Wの評点	693

W

W22	0
W7	5
W8	0
W9	0
W10	6

戻る(B)

● 激変緩和措置比較表

任意の組合せを選択し「選択中の組合せを想定値に反映」をクリックすることで、もっとも評点が高い計算方法に変更することができます。

シミュレーション結果モニタ | 令和3年4月法改正計算式を選択中...

Yの結果 | 総合結果 | **激変緩和措置比較表**

建設工事の種類	Pの点数	完工高・元請高(直前2年)		完工高・元請高(直前3年)	
		自己資本(基準)	自己資本(2年)	自己資本(基準)	自己資本(2年)
10 土木	781 ※	777	771	771	767
11 (アレス)	630 ※	627	630 ※	627	627
20 建築	926	922	928 ※	924	924

説明
 (基準) : 審査基準年度
 (2年) : 直前2年の平均
 ※印 : 同一業種で最も高い点数の組み合わせ

選択中の組合せを想定値に反映(C) キャンセル(B)

18-4 結果の印刷

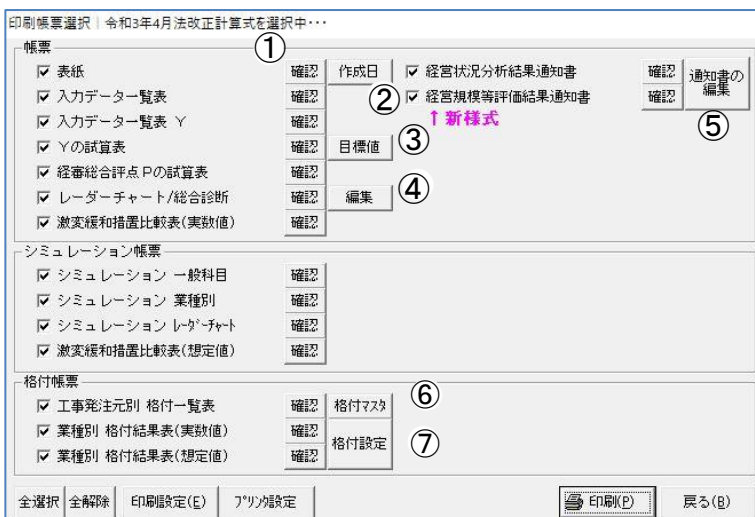
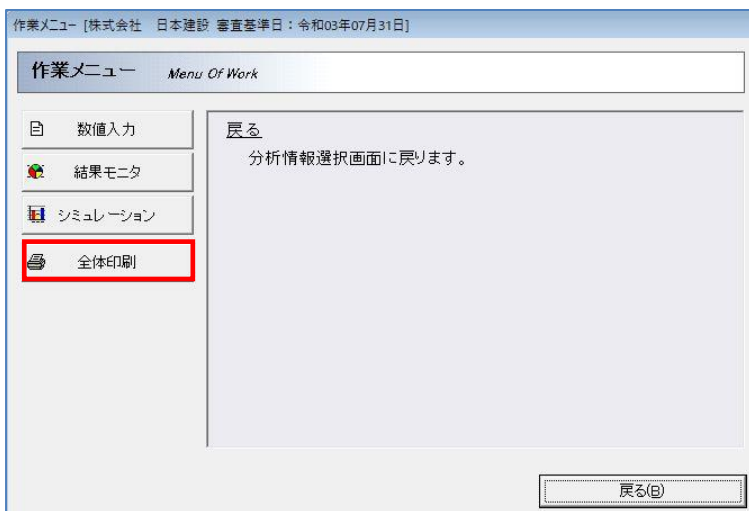
数値入力結果およびシミュレーション結果の印刷について説明を行います。

18-4-1 印刷帳票選択

印刷は「作業メニュー」の [全体印刷] または「各種情報入力・設定」画面の [印刷]、「シミュレーション」画面の [印刷] から行うことができます。

- 「全体印刷」からの印刷

「作業メニュー」の [全体印刷] をクリックすると「印刷帳票選択」画面を表示します。



• 「各種情報入力・設定」画面からの印刷

「各種情報入力・設定」画面の「印刷」をクリックすると「印刷帳票選択」画面を表示します。

各種情報入力・設定

基本情報 / 遡実緩和 | Y | 許可業種 | W1~W6 | W22, W7, W8, W9, W10

基本情報

顧客名 | 株式会社 日本建設

計算式 | 法人、令和03年4月法改正

審査基準日 | 令和03年07月31日

メモ欄 | 令和03年08月05日 11時51分に追加した分析情報です。

営業年数 < W2算出用 >

営業年数を自動計算
初許可年月日…… | |
休業年数…… | | 年

営業年数を直接入力
初許可以降の営業年数…… | 44 年

遡実緩和

年間平均完成工事高 / 元請高

直前2年の営業年度末の平均

直前3年の営業年度末の平均

自己資本額

審査基準日現在

直前2年の営業年度末の平均

結果を戻す | **印刷(D)** | 閉じる(B)



印刷帳票選択 | 平成28年6月法改正計算式を選択中...

帳票

<input checked="" type="checkbox"/> 表紙	確認	作成日	<input checked="" type="checkbox"/> 経営状況分析結果通知書	確認	通知書の編集
<input checked="" type="checkbox"/> 入力データ一覧表	確認		<input checked="" type="checkbox"/> 経営規模等評価結果通知書	確認	
<input checked="" type="checkbox"/> 入力データ一覧表 Y	確認		↑ 新様式		
<input checked="" type="checkbox"/> Yの試算表	確認	目標値			
<input checked="" type="checkbox"/> 経審総合評点Pの試算表	確認				
<input checked="" type="checkbox"/> レーダーチャート/総合診断	確認	編集			
<input checked="" type="checkbox"/> 遡実緩和措置比較表(実数値)	確認				

格付帳票

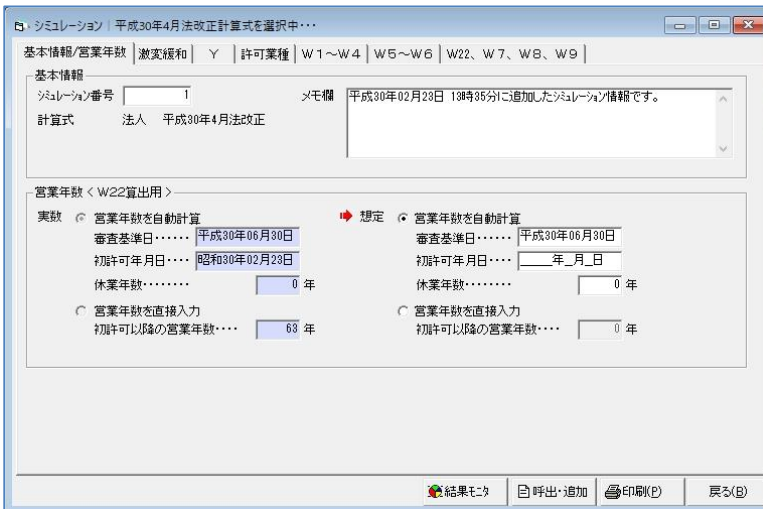
<input checked="" type="checkbox"/> 工事発注元別 格付一覧表	確認	格付マスタ
<input checked="" type="checkbox"/> 業種別 格付結果表(実数値)	確認	格付設定
<input checked="" type="checkbox"/> 業種別 格付結果表(想定値)	確認	

全選択 | 全解除 | 印刷設定(E) | プリント設定

印刷(D) | 戻る(B)

・「シミュレーション」画面からの印刷

「シミュレーション」画面の「印刷」をクリックすると「印刷帳票選択」画面を表示します。



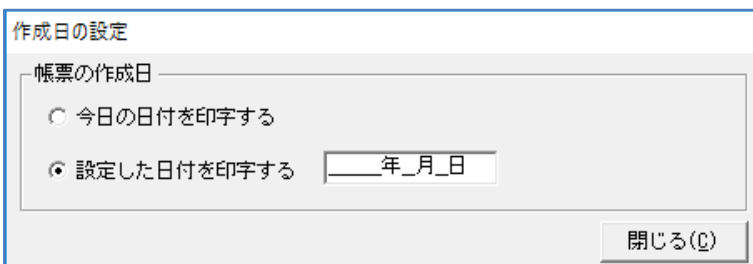
- [全選択] ……すべてのチェックボックスにチェックを入れます。
- [全解除] ……すべてのチェックボックスのチェックを外します。
- [印刷設定] ……「印刷設定」画面を表示します。
- [プリンタ設定] …「印刷」画面を表示します。
- [印刷] ……チェックをいれた帳票の印刷プレビューを表示します。
- [戻る] ……「印刷帳票選択」画面を閉じ、「作業メニュー」画面を表示します。

①確認

各帳票それぞれの印刷プレビューを開きます。

②印刷日

帳票作成日の設定を行うことができます。



③ 目標値

Y目標値の設定を行うことができます。

Y目標値の設定

評価項目名	科目	悪 ← 目標段階 → 良	算出金額	目標の初期化
①純支払利息比率			----	1
②負債回転期間			----	15
③総資本売上総利益率			----	3
④売上高経常利益率			----	1
⑤自己資本対固定資産比率			----	50
⑥自己資本比率			----	50
⑦営業キャッシュフロー			----	20
⑧利益剰余金			----	2

Y点 275 ▶ 275

X8 最低点数:-3 目標段階:2 初期段階:2
 最高点数:100 目標点数:-0.898 初期点数:0.06

シミュレーションに反映(O) 閉じる(B)

(1) 初期状態では「科目」が空欄です。プルダウンメニューから科目を選択し、「目標段階」のスライドを動かして目標数値を設定することで「算出金額」を表示することができます。

Y目標値の設定

評価項目名	科目	悪 ← 目標段階 → 良	算出金額	目標の初期化
①純支払利息比率	売上高		9,315	5
②負債回転期間	負債合計		8,825	20
③総資本売上総利益率	売上総利益		3,619	5
④売上高経常利益率	経常利益		-611	8
⑤自己資本対固定資産比率	自己資本		----	50
⑥自己資本比率	総資本(当期)		----	50
⑦営業キャッシュフロー	営業キャッシュフロー(当期)		-182,700	18
⑧利益剰余金	利益剰余金		120,400	3

Y点 275 ▶ 327

X6 最低点数:-68.6 目標段階:50 初期段階:50
 最高点数:68.5 目標点数:68.5 初期点数:68.5

シミュレーションに反映(O) 閉じる(B)

(2) 「目標段階」の数値が初期値よりも上の場合は数値を青色、下の場合は赤色で表示します。[目標の初期化]をクリックすると「目標段階」の数値を初期値に戻します。

④編集

総合診断の文章を編集することができます。

⑤通知書の編集

結果通知書に印字する項目の編集を行うことができます。

⑥格付マスタ

「工事発注元別 格付一覧表」画面から格付の登録・編集・削除を行うことができます。

工事発注元別 格付一覧表

No	工事発注元 名称	ランク情報					
		ランク1	ランク2	ランク3	ランク4	ランク5	ランク6
1	東京都	A: ~1501	B: 1500~1251	C: 1250~1001	D: 1000~751	E: 750~501	F: 500~

追加(A) 編集(E) 削除(D) 閉じる(B)

⑦格付設定

各業種別の格付を設定することができます。格付設定の前に格付マスタで工事発注元別の格付登録を行う必要があります。

業種別格付設定

業種	格付結果				主観点	No	発注元	工事発注元のランク毎の最低点							
	実数 総合点	実数 ランク	想定 総合点	想定 ランク				ランク1	ランク2	ランク3	ランク4	ランク5	ランク6	ランク7	ランク8
土木 (アス)	1304	B	1461	B	700	1	東京都	A:1501	B:1251	C:1001	D:751	E:501	F:0	:0	:0
建築	387		541		0										
管	1076	C	1232	C	600	1	東京都	A:1501	B:1251	C:1001	D:751	E:501	F:0	:0	:0
	435		586		0										

主観点の編集 | 格付元選択(E) | 格付解除(D) | 閉じる(B)

18-4-2 印刷の実行

プレビューで確認した後、印刷プレビュー画面のメニューバーから「印刷」をクリックすると印刷を実行します。



※下記画面は「入力データ一覧表Y」の印刷イメージ

<<入力データ一覧表Y>>

株式会社 日本建設

入力結果Y		営業キャッシュフローの入力明細 自動計算: する						
項目 (Y 貸出用)	入力値	項目	前々期	前期	当期	計算項目	前期計算結果	当期計算結果
【貸借対照表】		経常利益(事業主利益)	-----	0	-3,143	経常利益(事業主利益)	0	-3,143
固定資産	2,406 千円	減価償却累計額	-----	1,000	1,000	減価償却費	1,000	1,000
負債合計	5,426 千円	法人税住民税及び事業税	-----	0	0	法人税住民税及び事業税	0	0
利益剰余金	3,000 千円	引当金合計	0	0	0	引当金増額	0	0
自己資本	120,000 千円	受取手形	0	0	0	売却債権減額	0	0
繰上資本(当期)	32,426 千円	完成工事未収入金	0	0	0			
繰上資本(前期)	0 千円	支払手形	0	0	0	仕入債務増額	0	201
【損益計算書】		工事未払金	0	0	201			
売上高	5,000 千円	未成工事支出金	0	0	0	繰上資産減額	0	0
売上総利益	3,000 千円	材料貯蔵品	0	0	0			
受取利息配当金	66 千円	未成工事受入金	0	0	3,000	受入金増額	0	3,000
支払利息	500 千円							
経常利益(事業主利益)	-3,143 千円							
【その他】								
営業キャッシュ・フロー(当期)	1,058 千円					営業キャッシュ・フロー	1,000	1,058
営業キャッシュ・フロー(前期)	1,000 千円							
新設会社の処理	帯表対象12ヶ月 財務諸表1期分							

(金額の単位: 千円)

参考資料

経営事項審査評点算出表

[management_item_evaluation_calculation_table.pdf \(sakura.ne.jp\)](http://management_item_evaluation_calculation_table.pdf (sakura.ne.jp))